

未来へつなぐ 連携協定

～まちの魅力を高め、市民の心豊かな暮らしと安全を守る三つの協定～

和歌山県高野町 歴史友好都市提携

幾多の先人が築き上げた貴重な文化遺産を後世に伝えるため永遠の友情を結ぶ

1月16日、和歌山県高野町の金剛峯寺において、高野町と「歴史友好都市提携協定」を締結しました。本協定は、両市町の相互理解と信頼のもと、教育・文化、産業・経済・観光等の交流を推進し、両市町の限りない発展と地域住民の福祉の向上を図るべく、恒久的な友好関係の発展に努めるものです。今後は、歴史文化や観光を軸とした交流を進め、「西の高野」とも呼ばれる太龍寺、弘法大師が掘った「白水の井戸」がある平等寺と高野山との歴史的関係を踏まえた文化交流や、双方の魅力を広く発信する観光面での連携など、持続可能な取組を推進していきます。



▲ 歴史友好都市提携協定を締結した岩佐市長と平野高野町長

北海道苫小牧市 災害時相互応援

迅速かつ円滑な応急措置等により地域防災力の向上を図る

2月2日、苫小牧市役所において、苫小牧市と「災害時の相互応援に関する協定」を締結しました。本協定は、両市が海に面し津波災害のリスクを抱える一方、遠隔地にあるため同時被災の可能性が低いという利点を生かし、両市のいずれかで大規模災害により被害が発生した場合、職員派遣や物資提供などの応援を迅速かつ円滑に行うための枠組みを定めるものです。今後は、平時においては危機管理に関する知見を学び合い、有事に備えた連絡・受援体制の確認を進め、地域防災力の向上を図ります。



▲ 災害時相互応援協定を締結した岩佐市長と金澤苫小牧市長

一口メモ



● 高野町 ●

高野山真言宗の聖地・高野山を中心とする人口約2,600人の町。貴重な文化財や建造物、名所が数多く残り、国内外から約150万人の観光客が訪れる「宗教と環境と道徳の町」として知られています。



● 苫小牧市 ●

人口約16万4,000人、道内4番目の人口規模の都市。港湾・工業を中心に多様な産業が集積する北海道の主要産業拠点都市で、阿南市と同様に王子製紙株式会社の工場が立地しています。



問い合わせ 秘書広報課 ☎22-1110